

エネルギー教育モデル校 企画

「大飯発電所・原子力研修センター 見学会」

12月9日土曜日に、1年生13名、2年生33名 教職員11名が福井県にある「大飯発電所」と「原子力研修センター」を見学しました。

「原子力研修センター」では、原子力発電所に携わる人たちの訓練施設であるため、実際の発電所にあるような燃料プールや、燃料棒の模型、燃料交換用のクレーンなど、なかなか見ることのできないようなものをたくさん見学することができました。

見学後、「燃料のペレット1つでいくぐらいするのですか」「原子力発電所がある地域に集中しているように感じるのですが、なぜ均等になるように散らばせて建設しないのですか」など、積極的に質問をしていました。

また、「大飯発電所」ではPR館において原子力発電所の大きさを三分の一にした模型「1/3ワールド」を見学し、説明を受けた後、バスにのって大飯発電所の見学を行いました。バスの中ではVR(バーチャルリアリティ)を用いて発電所構内の様子をわかりやすく映像で見せてもらい、興味関心がさらに増したようです。

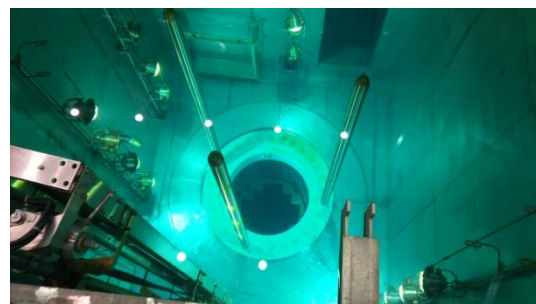
アンケートには「原子力発電所の実際の大きさに驚いた」「1/3ワールドで、実際の核燃料(ペレット)との大きさの違いに驚いた」「原子力発電所の緊急時の安全対策について知ることができた」等のコメントがありました。



原子力研修センターでの説明



ペレット・制御棒の説明



燃料交換の訓練をするプールを眺めています

